

風格漂う田中邸 - 旧西国街道沿い -



▲いまでも風格漂う田中邸の門構え

萱野
3

萱野3の田中邸（第2回箕面花とみどりの街角表彰市議会議長賞）は、受賞後12年たちますが、門の作りはもちろん6本の松の木にいたるまで景観は当時とほとんど変わっていません。旧西国街道に面しており、戦後、街道が幅4mほどに拡張されたとき、門ごとそっくり、邸内に引っ込む格好になったそうです。屋根瓦などは阪神大震災後、一部葺き替えられましたが、長屋門の門構えそのものはおそらく100年以上前のものと思われる。

「昔の農家はもみを干したりするので庭が広く、その分、門構えも大きかったのでしょう」と、ご主人の田中亮一さん。「筋向いに萱野三平邸（府の史跡）」があるので、この環境、風情は今後も守りつづけていきたいと思います」とおっしゃっており、1本1本の庭木や白壁にまで気を配っておられるようです。



チューリップ畠に見とれる新入生

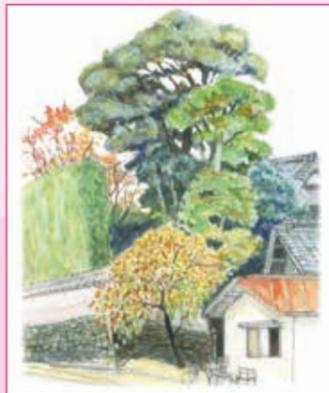
萱野東小学校前を東西に走る市道を西へ300mほど行くと北側（石丸2）にチューリップ畠が広がっています。

すぐそばの農家、中家俊二さんが10年ほど前から植え始めましたが、毎年少しずつ増え、今年は800株以上のチューリップがひしめくように咲きました。

田植えが始まるまでの間、登下校する子どもたちの目を赤、黄、紫など色とりどりのチューリップでなごませようとはじめられたそうです。

だから周りのれんげ畠と同じように農閑期だけの期限限定型です。ちょうど新学期のころに満開となったため、児童が連れだって見とれていました。

道路沿いに咲くおよそ800株のチューリップ。▶赤、黄、白の花模様が道行く人をなごませる。



この絵は「まちなみの中の指定樹木マップ」（「みのお市民まちなみ会議」発行）に掲載された岡島信博さん描く田中邸のモチノキです。

石丸
2



Column

風情を守る 苦勞と努力

箕面には年輪を重ねた邸宅や街道、寺院が多数散見されます。「箕面は落ち着いた風情のある街」と景観評価が高い一因にもなっています。

上記の「あの公園、あの庭は、いま」の田中邸もその一つです。

じつは門構えだけではなく邸内にもうひとつ素晴らしいものがありました。市の指定樹木の「モチノキ」です。高さ10mを超し、幹まわりも2mほどあり、根元には天保十二年と刻まれた石の道標も立っています。剪定はもちろん、肥料や害虫対策にも気を配り枯らさないようにといろいろ苦心されています。

以前、田村橋通りの大正建築群を取材した時、桜ヶ丘の景観保存に尽力されている今枝章平さんが「地域でいろんな協力はしていますが、一番苦勞と努力をなさっているのは、そこにお住まいになっている方々です」とおっしゃっていたのを思い出しました。



サポーター 大募集!!

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどんどんお寄せください。

情報ご連絡先 shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259 (佐藤まで)

みどりの街しんぶん 花と緑あふれる箕面に・・・ 第13号 平成28年5月発行

みどりの街しんぶん編集委員会 連絡先/090-5651-0259(佐藤秀代)

シニア、中高生の活動みものる

箕川の清掃・美化

栗生外院の住宅街に沿って流れる箕川の川沿い1.3キロでは130本以上のウメをはじめ、アジサイ、スイセン、ラベンダー、リュウキンカなどの花々が四季を通じて住民の目をなごませています。

また最近めっきり少なくなったヘイケボタルも生息しています。

2月末には観梅会が開かれ住民らが赤、白、ピンクに色づいたウメ並木を楽しみました。



栗生
外院

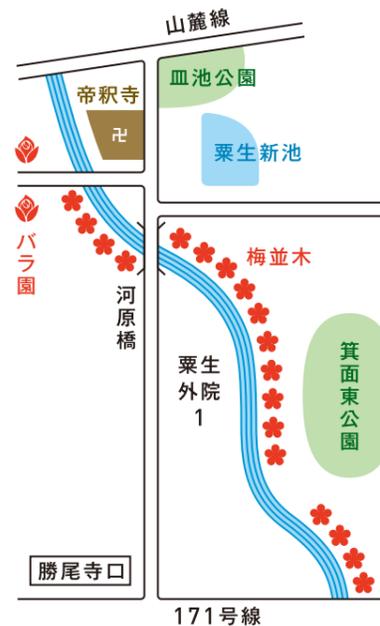
▲箕川沿いに咲いた梅に見とれながら散策する人たち

梅・スイセン・ラベンダーの施肥、剪定など

こうした水辺の自然環境を守っているのは NPO 団体「箕川・水とみどりの会」（高山嗣彦会長）の会員30人と箕面東高生、六中生ら世代を超えたグループです。会員は60代以上のシニア層が中心で、毎月2回、川のごみを回収したり雑草を刈ったりするほか、肥料をやり、ウメをはじめビワ、サクランボ、アジサイ、カキの枝をこまめに剪定しています。

また六中では8年前から川沿いで卒業記念植樹をしています。今年も3月26日に里村潔校長先生らが立ち会い、30期生約40人がウメを植え「未来は自分達たちが創る!」と誇らしげに書かれた記念札を添えていました。

また、近くの東高生も毎年川沿いに水仙の球根を植えてくれています。



▲卒業記念に梅の苗木を植える六中生たち

こんなアドプト活動が実を結び、初夏にはホタルが飛びかいます。それも最近めったに見られなくなったヘイケボタルが、ゲンジボタルにまじって飛んでいるそうです。帝釈寺のすぐ横で、梅雨明けごろが見るチャンスらしいです。

このほか、カルガモ親子が憩うなど川の浄化運動は自然を着実によみがえらせています。

脚光浴びる 箕面特産



▲売れ行き好調な特産の箕面納豆

高校生が育てた大豆で「箕面納豆」!

箕面特産の実生柚子や大豆を原料にした納豆やポン酢、マーマレードが脚光を浴び、品切れ状態が続いているそうです。

「箕面納豆」は、市内の小学校や高校などで栽培された大豆をNPOホープビジョンが製品化しています。

聖母被昇天学院では中学校高等学校自然科学部の生徒16人が大豆を無農薬栽培、さやから豆粒をとりだす手作業もしたうえ今年1月、約3000gを持ち込みました。2月中旬に間に合うよう急ピッチで商品化され、在校生から同部の卒業生に「納豆のように粘り強く生きてくださいね」とプレゼントされました。箕面納豆は豆粒の食感が人気を呼び、予約販売している店もあるようです。

一方、箕面市地域創造部営業室では、主婦らの「止々呂美生活改善グループ」が実生柚子から手作業で製品化した「ゆずマーマレード」を営業室の一角で販売しています。

「自然任せなので気候の変動などで製品が少ない年もあるんです」と、グループの森下勝子さん。特産の止々呂美山椒を原料にした「山椒七日煮」や梅ジャムなども作っており、年中忙しそうです。

箕面商工会議所でも「実生ゆずポン酢 たきのみちゆず」や「ゆずドリンク」を販売していますが、こちらも限定販売なのですぐ売り切れる年もあるそうです。このほか、「ゆずのドレッシング」「ゆず味噌」「箕面キムチ」「ゆず酒」、各種スイーツなど、毎年のように新しい品種が増えています。

一度、滝道沿いの特産品販売店「箕滝案」や、萱野中央の朝市でものぞいてみられたらいかがですか。



▲ゆずジュース、実生ゆずポン酢、ゆずキムチなど

第2期 「花とみどりの学校」がスタート!

第2期「箕面・花とみどりの学校」の「園芸基礎コース」が、2月末にスタートしました。30人の入学生のうち、約90%が女性でした。この日は、特別記念講師として園芸専門家の神代繁近さんが登場。

分かりやすく水・温度・光・肥料などお花づくりの基礎全般を約1時間かけ講義。

後半は近くの「古井戸公園」の花壇へ移動、冬の間の準備作業として“土づくり”を実習。

ほとんどの生徒さんが「初めて・・・」という重たい鍬(くわ)で、土を掘り起こす“天地返し”を体験しました。

また、第1期生の「園芸中級コース」も、大阪コミュニティ財団の資金的応援が決まり、この夏頃から再開される見通しになりました。

情報プラント

箕面駅近くに「菜の花畑」! ~農家さんが街の潤いづくりのために~

阪急箕面駅の近くに菜の花畑が出現しました。ここは、箕面5丁目の商店街や住宅街に囲まれ田畑や虫飛ぶ小川が残る「ミニ・オアシス空間」に春の田園のシンボル“菜の花”が満開、道行く人々を、楽しませていました。

栽培してるのは地元の園芸農家の上田芳弘さんで、野菜や菜種油の生産目的でなく、「街の潤い」

づくりとして自主的に「咲かせてる」とのこと…。市内各地で農家のみなさんなどが、農地を生かして菜の花・レンゲ・チューリップさらにはバラなどを生産目的ではない景観作物として栽培、地域の緑花に大きく貢献してます。

こんな素晴らしい菜の花畑が箕面駅のすぐそばに…▶

女性グループの呼びかけで、店舗も協力!



▲小野原サンシャインロードの遊歩道を花で飾る女性グループ

水やりなどボランティアに参加して下さる方はこちらまでご連絡ください。

小野原サンシャインロードクラブ
藤井さん 090-3490-3383



小野原西を東西に貫く、通称「小野原サンシャインロード」沿道の遊歩道の花壇がいま花盛りです。女性のグループが季節ごとに花の植え替えや肥料をやるなど丹念に世話をしているうえ、沿道の喫茶店、レストラン、洋品店など13店舗が水やりなどに協力しています。

小野原サンシャインロードは市道小野原豊中線のうちの小野原5～6丁目の約600m。藤井和代さん(小野原西5)らざっと20人のグループが3年前に沿道の店舗と協力して公募で名づけられました。両側の遊歩道には市がつくった花壇が13か所点在していますが、グループは自分たちで花の世話をするだけでなく、道路沿いのお店にもまわりを花で飾ってくれるよう呼びかけてきました。おかげで開通5年でおしゃれなフラワーロードに変身したのです。

「道沿いにリハビリ病院があるのですが、その患者さんらが『今日もう一つ向こうの花壇まで頑張ろう』とウォーキングされているそうです。花は心を癒すだけでなく、元氣も与えてくれるんですね」と藤井さんは話しています。今後は63カ所の並木の根元も花で飾りたいそうです。

花で輝くサンシャインロード

粟生外院バラ祭 5/21, 22



60種 270株! むり絵コーナーも!

今年も、5月21日(土) 22日(日)の2日間、午前10時～午後4時、粟生外院2のバラ園で開催されます。

去年より多い、ざっと60種270株のバラが楽しめます。ひときわ目立つのは真紅のパパメイアン、イングリット・バークマン、ピンクのピース、赤白まだら模様のダブルデライト、豪華なクイーン・エリザベスなど「殿堂のバラ」。世界バラ会議で認定された品種だけに気品も漂っています。

今年は希望者に3種類のバラのむり絵がプレゼントされたり、子どもたちにその場で思い思いの色を塗ってもらうコーナーも設けられます。「オープンガーデン方式ですので、気軽にのぞいてみてください」とのことです。



左:クイーン・エリザベス
右:イングリット・バークマン

石澄川沿いのプロムナード具体化へ

箕面川下流で水とみどりの潤いある環境づくりに取り組む「瀬川親水・散策の場づくりの会」(川端常樹会長)は、2月に住民をはじめ大阪府や箕面市の参加によりワークショップ(会合)を開催、まず石澄川沿いにプロムナードを整備することを決めました。

現在、同会と河川管理者の府との間で整備の具体的な姿についての話し合いが進められています。

